

■ ほこたの福祉 ■

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 茨城県銚田市当間228 TEL 0291-32-5831

ホームページアドレス <http://www.hokotashakyo.or.jp>



ふれあいいいきいきサロン交流会
「サロンのお宝探し」サロンに参加してよかったこと♪

ふれあいいいきいきサロン事業は、公民館などを利用し、高齢者を中心として、地域住民とボランティアが協働し、仲間づくりをするサロン活動を、社協が応援する事業です。

2月26日(水)に16サロン29名の方々に参加頂き、それぞれが6つのグループに分かれて話し合いがなされました。

各サロンの活動内容や目標としていることなどを意見交換する中で、「会話ができ、つながりを深めていくところ」「笑って帰る場所」など、サロンの“お宝”を見つけることができました！

このほか、サロンで活躍できるボランティア団体の紹介をし、銚田市地域包括支援センターと社協から、サロンで活用できる講座などの案内を行いました。

今回の交流会が、今後の楽しいサロン活動の一助になれば幸いに思います。

みなさんも地域でサロン活動を始めてみませんか？

*詳細については、社協までお問い合わせください。



このマークのついている事業は、赤い羽根共同募金が活用されています。

令和7年度 銚田市社会福祉協議会事業計画

基本方針

世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に2類から5類に引き下げられ、社会経済だけでなく地域住民の生活や活動においても、だいぶ以前の日常を取り戻しつつあります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症が地域社会に与えた影響は大きく、昨今の社会経済の変化も相まって、人と人とのつながりの希薄化や社会的孤立といった地域社会を取り巻く課題は残されたままとなっています。

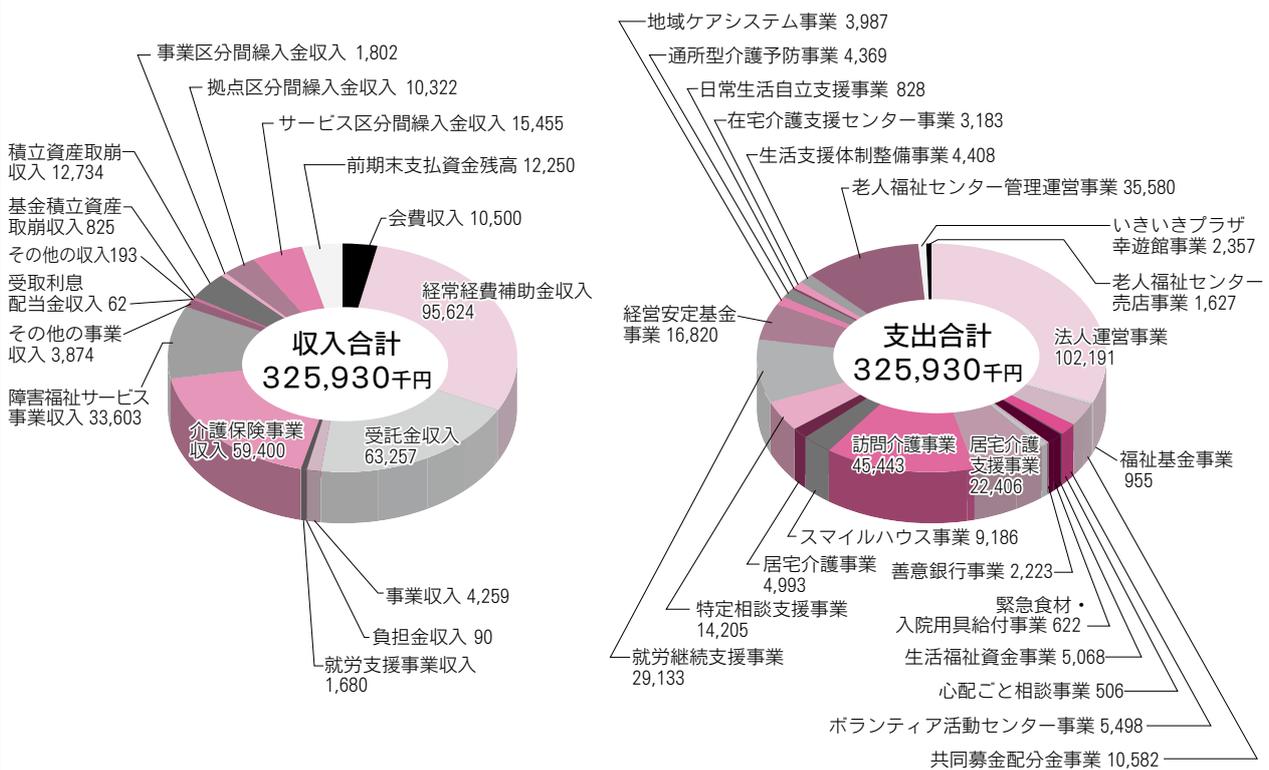
また、食料品や燃料、電力等の価格高騰により、生活改善に至らず困窮状態が継続している世帯への支援も引き続き必要となっています。

このように地域住民が抱える課題が多様化、複雑化した現代においては、福祉課題解決にむけて、多職種分野との幅広い連携による対応と支援が求められています。

国としても「地域共生社会の実現」をキーワードに、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創る社会を提唱しています。

市社協といたしましても地域福祉を推進する中核的な団体として、関係機関や地域組織、団体とともに、地域住民のつながりの再構築に向けた住民の交流や生活支援など、地域課題の解決や地域共生社会の実現に向けた活動を展開し、市民だれもが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進します。

令和7年度 銚田市社会福祉協議会予算 (単位：千円)



社会福祉協議会が取り組む活動内容

周知・広報事業

- 社協だよりの発行
- SNSの活用
- ホームページの運営

自主財源確保

- 会員募集事業
- 赤い羽根共同募金運動
- 善意銀行事業

ボランティアの育成と推進事業

- ボランティア講習会
- ボランティアスクール



- ボランティア活動助成事業
- ボランティア活動センター事業

高齢者福祉事業

- 介護用品支給事業
- ひとり暮らし高齢者サロン事業
- 高齢者健康増進事業
- 車いす・福祉車両等貸出事業
- ふれあい電話事業
- 日常生活自立支援事業
- 通所型介護予防事業
- 在宅介護支援センター事業

低所得者福祉事業

- 緊急食材等提供支援事業
- 緊急入院用具給付事業
- あつまれ！みんなの食卓応援事業



- 生活福祉資金貸付事業
- 歳末たすけあい事業

障がい者(児)福祉事業

- スマイルフェスティバルinほこた



- スマイルチャレンジ
- 就労継続支援B型事業所「のぞみ」運営
- 地域活動支援センター「スマイルハウス」運営
- 特定相談支援事業

児童福祉事業

- 子どもの学び場プロジェクト事業
- 新入学児童祝品事業
- 福祉体験・福祉活動校支援事業

地域・在宅福祉事業

- 心配ごと相談事業
- 地域福祉推進費助成事業
- ふれあいいきいきサロン事業



- みんなで支え合いサービス事業
- 地域ケアシステム推進事業
- 生活支援体制整備事業
- 備品貸出事業

介護保険事業

- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業

指定管理事業

- いきいきプラザ幸遊館管理事業
- 老人福祉センター管理運営事業

福祉の「め」

家族への恩返し



旭南小学校 6年
日向寺 美玖

私は、いつも多くの人達に支えられていて、感謝したいことがたくさんあります。特に、感謝の気持ちを伝えたい人は、家族です。

私は、たくさんのお習い事をしています。バレエやバスケットボール、ピアノなどです。送りむかえは、私が好きなことをできるようにと、家族が毎回やってくれています。私が好きなことを続けていられるのも、こつした家族の支えがあるからです。

また、辛いことや不安なことがあった時に、相談に乗ってくれたり、寄り添ってくれたりします。その度に、勇気をもえます。だから、「もつ少しがんばろう。」と思うたり、「最後までやろう。」という

気持ちになったりすることができません。家族の言葉が私を支えてくれています。

他にも、家事を毎日欠かさず行ってくれます。たとえつかれていても、おいしい料理を作ってくれたり、洗濯をしてくれたりします。毎日のご飯も、みんなの健康を考えてくれていきます。私もご飯を作ったことがあります。その時は、とても時間がかかったし、栄養のバランスを考えて作ることが難しかったです。この経験から、朝・昼・夜すべての食事の栄養バランスを考えて作っているのは、本当にすごいことだと思いました。私が今まで当たり前だと思っていたことは、とても大変なことだと分かり、やってもらうのが当たり前だなんて思っていたいけなさと感じました。私がご飯を作った時、家族に「ありがとう。」と言われたことがとてもうれしくて、「やってよかったな」と思いました。だから、家族には、同じように「ありがとう」という気持ちをたくさん伝えたいです。私が幸せに生活できているのも、家族のおかげです。次は、私が家族に恩返しができるように進んでいくことをしたいと思います。また、私が家族を元気づけたいです。

「福祉」を実現するために



大洋小学校 5年
高野 晴志郎

みなさんは、「福祉」という言葉を知っていますか。ぼくの考える「福祉」とは、だれもが幸せに暮らせる社会になるよう、みんな協力し合うということだと思えます。

公共施設などには、「福祉」に対応した設備が多くあります。例えば、点字ブロック、スロープ、多目的トイレなどです。これらの設備には、体の不自由な人でも、だれでも利用できるような工夫がされています。それでも社会の中では困っている人がいます。施設は問題なく使えるのに、なぜ困るのでしょうか。

それは、ぼくたち一人一人の意識が関係しているのだと思います。「自分とちがうから」というて関わろうとしなかったり、悪口を言ったりしてしまい、他人を傷

つけてしまうことがあります。そんな差別が社会の中でたくさん起こっています。

しかし、相手を直接こうげりする差別だけではなく、無意識のうちにしてしまう差別もあります。以前、学校で、性的マイノリティについての動画を見ました。そこで、自分の性についてなやみをかかえていた方の話を聞きました。その方は、周りの人の思いこみや、決めつけで苦しんだと話していました。動画を見て、無意識の差別をしないようにするのはむずかしいと思いました。しかし、何気ない言動が人を傷つけてしまうことを知るきっかけになりました。

施設が整備されても、ぼくたちの意識が変わらなければ、「福祉」は実現されないと思います。そのため、ぼくはまず、「認め合う」ということを心がけたいです。人間には個性があります。その個性を認めて、ゆずり合ったり、助け合ったりすることが大切だと思います。認め合いの輪が広がって、みんなが幸せにくらせる社会になってほしいです。

家族への感謝の気持ち



鋒田北小学校 6年
梅澤 龍之介

いつも支えてくれている家族に、ここで感謝の気持ちを伝えたいです。学校や習い事などの送り迎えをしてくれたり、自分が好きなサッカーを始めるきっかけを作ってくれたりして、とても感謝しています。他にも、宿題の分からないところを教えてくれたり、なやみを聞いてくれたりするので、毎日安心して、楽しく過ごすことができます。

二年生のとき、サッカーが楽しくなくなってしまう、辛い時期がありました。家族は、「つらいならやめてもいいよ。」とすぐに相談ののってくれました。少年団をやめ、サッカーを続けるか迷っていたときも、いろいろな選たくしを作ってくれました。最終的に、水戸のクラブチームに行くことになり、そこで初めてしたサッカー

が今までで一番楽しかったのを、今でも覚えています。あのとき、この選たくしを作ってくれなかったら、サッカーを続けていなかっただけかもしれません。だから、本当に感謝しています。

六年生になってからも、環境が変化することへの不安や迷いについて相談ののってくれ、ベストな答えや的確なアドバイスをくれました。お弁当やボールの準備をして、ぼくのサッカーの応援をし、体のことまで考えてくれています。いつも、仕事が大変なのに、ぼくのことをずっと考えてくれているので、家族が少しでも楽になれるように、自分もできることをしていきたいと思えました。そして、日頃から感謝を忘れず、しっかりと伝えていきたいと改めて感じました。将来は、ぼくの家族がしてくれているように、困っている人が安心できるような言葉をかけたり、誰に対しても分けへだてなく接したりしたいと考えています。

ぼくにとつて、家族はとても大切であり、安心感を与えてくれる存在です。ぼくは今、とても幸せです。

社会が悩みに気付いてくれる



鋒田南中学校 3年
郷 家 想 太

みなさんは今、悩みを打ち明けられる人はいませんか。悩みを打ち明けるという人は人に弱さを見せるようで難しいという人もいるかもしれません。でも僕は、悩みを打ち明けられるような信頼できる「人と人との関係づくり」が、今僕たちが生きている社会を、より良いものにしていくことだと思います。

僕は以前、知り合いとの関係がうまくいかずにケンカをしてしまったことがありました。「自分で何とかしなきゃ」と、家族や先生にも相談できず、どうしたらいいのかわからず、学校からの帰り道はずっとそのケンカのことを考えながら歩いていました。そうやって落ち込んでいくときに、ある友達が「何かあったの?」と優しく声をかけてくれました。僕とても仲の良い友達だったので、今までのことをすべて話しました。その時、友達は真面目に自分のこのように話を聞いてくれました。ただ話を聞いてもらっただけでなく、ガチガチに固まっていた僕の心は溶かされて安心しました。なんだか久しぶりに呼吸できた気がしました。

悩みを打ち明けるということは、簡単なことではないかもしれませんが、そんな人ほど自分の気持ちを素直に伝えられないまま、周りの目を気にして我慢している。そうしているうちに、我慢していることに慣れ、ある日突然、何かをきっかけに心が壊れてしまいます。「どうして気付いてあげられなかったのだろう」と後悔しても遅いのです。

人と人との関係は、家族だけでなく、地域で交流する場を作り、互いに相談し合える仲を築くことはもちろんですが、近くにいる相手を気にかけることが第一歩だと思います。僕の悩んでいる姿に気付いてくれた友達のように、「どうしたの?」という一言をかけることが当たり前のようにできる人が増えれば、犯罪や非行のない明るい社会を創ることにつながります。目の前で泣いている人だけでなく、いつも笑っているあの子にも、心の中に抱えている何かがあるかもしれません。でも、誰かの、相手を気にかける一言で、大きなことにつながる小さな火種を消すことができる、僕は思います。僕の悩んでいる姿に気付いて、声をかけてくれた友達のように、僕も声をかける勇氣、相手を気にかける優しさをもった人になりたいです。そして、地域の「一員」として見守られていることに感謝し、地域のために、ぼくができることを探していきたいです。そのことが、悩みを抱えている人に「一人じゃないよ」と伝えるきっかけにもなると思います。中学生の僕にできる小さなことが、僕が今生きている社会を明るくしていくことの第一歩になること信じて、これからも行動していきたいです。

トピックス

子ども食堂《タベルナ》に来てみませんか？

子ども食堂《タベルナ》は、認定特定非営利活動法人キッズ王国が開催しています。毎回、子どもたちのかわいらしい笑顔のために、手づくりの料理とおやつ、楽しいイベントなどを用意しています。まだ来たことのないお友達は、ぜひ来てみてください。お待ちしております。



内容：昼食とおやつの無料提供・食後の体験型イベントを実施
対象：幼児から中学生
昼食提供数：毎回100人
開催：毎月第2・4土曜日（諸事情により変更となることがあります）
受付：11:30～12:30（100人になり次第終了します）
会場：銚田市社会福祉協議会
（銚田市当間228番地 ほっとパーク銚田隣）

「タベルナタイム」
（レクリエーション活動の様子）



子ども食堂《タベルナ》は多くの市民、企業や団体の支援と協力を得て実施するボランティア活動です。
タベルナはギリシャ語で大衆食堂という意味を持ちます

茨城県社会福祉大会

2月20日（木）、水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールにて、第74回茨城県社会福祉大会が開催されました。

この大会は、本県の社会福祉の向上に尽力された皆さまを顕彰し、敬意と感謝の意を表するとともに、本県における社会福祉の一層の発展に資することを目的として開催されています。

本市では23名・6団体の皆さまが顕彰され、その功績を讃えられました。

大会当日は参加者の皆さまがアトラクションや交流を楽しみ、和やかな一日を過ごされました。



銚田市で活躍する
ボランティア団体を
紹介します！

「たんぼぼコーラス」

歌声で笑顔をひらける

たんぼぼコーラスは平成元年創部、現在部員18名です。大洋公民館で月2回指導講師の下で活発な練習活動を行っています。レパートリーは、おなじみの童謡・唱歌から美しい叙情歌、そして流行歌・ミュージカル曲など幅広く、最近では、壮大な合唱曲として有名な曲目にも挑戦しています。

コーラスは、何より、美しいハーモニーがいのちと言えましょう。例えば、山登りの様に、みんなで一歩一歩地道に練習をつみ重ね、頂を目指します。それこそが合唱の醍醐味であり、喜びでもあります。当クラブでは、年間を通してボランティア活動を行っています。ご要請に応え、市内各地の介護・老人施設を訪問しています。合唱を聞いて頂く、手遊びを交えて一緒に歌って頂く、時には楽器演奏などもお楽しみ頂いております。こうした発表は、人々との出会いの喜びであり、祈りであり、私たちにとっても幸福の瞬間でもあります。今後ともしっかりとボランティア活動を続けたいと思っております。

合唱に興味のある方、是非参加して下さい！
代表 若林 康子



令和7年度 銚田市心配ごと相談所日程表 ※事前予約制

相談日				開催場所	問合せ・申込み先
4月10日(木)	7月10日(木)	10月9日(木)	1月8日(木)	銚田市社会福祉協議会 銚田本所 (銚田市当間228) ほっとパーク銚田となり	社会福祉協議会 銚田本所 TEL 0291-32-5831
5月8日(木)	8月7日(木)	11月13日(木)	2月12日(木)		
6月12日(木)	9月11日(木)	12月11日(木)	3月12日(木)		

※弁護士による無料法律相談です。(1人20分程度)
 ※対象者：銚田市内に在住・在勤の方
 ※開催時間：午前10時30分から午後3時まで
 ※定員9名になり次第締切

多くの善意をありがとう 期間：令和6年12月1日～令和7年2月28日現在

善意金

●福祉一般へ預託

㈱旭スチール建設工業	50,000円
銚田第一高等学校・附属中学校	山王祭 2,194円
キッズ王国	2,645円
鹿行地域労福協	10,000円
縦山友和会	3,433円
浅野雅斗 様	2,360円
銚田地区民生委員児童委員協議会	3,183円
銚田市更生保護女性会(思いやり募金含む)	60,000円



思いやり募金箱設置協力者

- ◆ Grillあらの ◆ 鹿島灘海浜公園
- ◆ いち政 ◆ とっふいさんて大洋
- ◆ 札クリニック ◆ 洋食亭ときわ
- ◆ 久家動物病院 ◆ ミートセンター菊地
- ◆ 株式会社ヤマザキ
- ◆ ファミリーマート銚田中央店
- ◆ ヤマデン新銚田店
- ◆ タケダ化粧品店 ◆ オジマ洋品店
- ◆ ほか弁・いけだ屋 ◆ ともえ荘
- ◆ 社協銚田本所事務所前

匿名	33,492円
匿名	28,394円
匿名	2,565円
匿名	5,687円
匿名	1,000円

●児童福祉へ預託

月よりの使者	50,000円
--------	---------

使用済切手・テレホンカード等

春の場所	使用済切手
是安文子 様	使用済切手
汲上郵便局	使用済切手
郡司自動車サービス	使用済切手
吉田恵美子 様	未使用切手
久家動物病院	使用済切手
銚田地区民生委員児童委員協議会	使用済切手
ゆかりの会	使用済切手
黒田恵一 様	使用済切手等
匿名	使用済切手
匿名	使用済切手
銚田市役所 社会福祉課	使用済切手
銚田市役所 健康増進課	使用済切手

善意品

第一生命労働組合水戸支部
文房具54セット



新堀光一 様 食器
銚田市商工会女性部
タオル、衣類等125点



銚田市旭地区民生委員児童委員協議会
日用品14点



川津幸恵 様 衣類、文房具
匿名 日用品等17点
匿名 日用品8点
匿名 日用品等10点
匿名 日用品28点
匿名 日用品等3点
匿名 日用品4点
匿名 オムツ3点
匿名 手提袋・巾着等160点

●やさしさのかけはしプロジェクトへ預託 親子ほこた農業楽園

ピーナッツカボチャ 2箱
銚田市商工会女性部 保存食品53点
㈲カントリー開発 保存食品5箱
銚田市旭地区民生委員児童委員協議会
保存食品15点
ほこた農業協同組合 保存食品59点
匿名 保存食品13点
匿名 米30キ口
匿名 保存食品1点
匿名 保存食品15点
匿名 保存食品等8点
匿名 お茶1箱
匿名 保存食品等20点
匿名 もち米15キ口
匿名 保存食品11点
匿名 保存食品28点
匿名 保存食品8箱
匿名 保存食品6点
匿名 保存食品14箱
匿名 保存食品10点

保育所(園) 幼稚園児の作品

あどけない子どもたちが、絵をとおして福祉の「め」を育むことも大切です。市内の保育所(園)や幼稚園にご協力をいただいております。

「ずっととともだち」



まいにち たくさん あそんで
たのしかった ようちえん
みんなで すこした このぼしよで
いつか また あそぼつね

4・5歳児 (もも・ひまわり組)
鉾田市立つばさ幼稚園

「動物園ごっこをして遊んだよ」



年長さんや年少さんのお友達がチケットを買って遊びに来てくれました。飼育員さんになったりチケット売り場の係員さんになったりしてお客さんとのやり取りも楽しめました。

鉾田市立鉾田北幼稚園 4歳児 (ちゅうりっぷ組)



12名のひまわりぐみ(年長児クラス)。春からは小学生!学校、クラスが違って、ともに過ごした友だちはこの先もずっと友だちでありますようにという願いを込めて作りました。みんなずっとずっと友だちたよ☆

鉾田市立鉾田幼稚園 5歳児 (ひまわり組)

手と手を つなぐ 地域づくり

(地域福祉活動推進事業)

社協では、地域が自主的に実施する交流事業や健康づくり事業等に対して、補助金を交付しています。今回はその中から一地区をご紹介します。

令和7年2月9日(日)実施

午前中は村祈祷。

区の役員・寺の総代参加のもと、縦山区のお寺(寿福院)に住職をお迎えし、今年一年の五穀豊穡・無病息災・家内安全や区民に災難が及ばないことを祈願。夕方には区内の辻々6か所に災難除けの「大般若守り札」を設置。「守り札」は各家庭にも配ります。この日は一日中お寺を開けておくため、区民がお参りすることができます。

午後は春囃子。

区の役員、4月からの新役員・春囃子保存会の皆さん方参加のもと実施。軽トラックに大太鼓と小太鼓、御神酒を積み込み集落センターを出発。区内をほぼ一周、途中神仏を祀つてある庚申様・縦山神社・巖島様・湯殿様・大杉様・二十三夜様の順で車道を停止し、御神酒を上げ、大鼓をたたき、大きな声で五穀豊穡・無病息災・家内安全などを囃し、小節ごとに全員で両手を頭上にかざして祈願。大きな声で囃すのは、集落全体に春の活気をみなぎらせようとする思いが込められています。

終了後、集落センターに戻り慰労会を実施して、区民同士の交流を図りました。
縦山区長 菅谷 達男



視覚障がいなど不自由な方へ...

視覚障がいなど不自由な方へ、点字ボランティアが点訳、音訳ボランティアが朗読した「社協だより」をお届けしています。希望される方は、鉾田市社会福祉協議会ボランティア活動センターへお申込みください。

